

第1学年〇組 学級活動（1）指導案

日 時 令和5年〇月〇日（〇）第〇校時

場 所 1年〇組教室

指導者 〇〇 〇〇

1 議題「1ねんせい なかよし しゅうかいをしよう」

（ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決）

2 議題について

（1）児童の実態

本学級の児童は幼い面があり、うまくいかないことがあると、泣いたり、怒ったりすることがあるが、それゆえ打算的な考えがなく、良いと思ったことは進んで行動をする。一方、一部の児童は考えや振る舞いがしっかりしている。自分にとって良いことがあるかで物事をとらえていることもあり、教師の言動をよく見ている。友達関係は、発達段階相応であり、同性同士で遊ぶときもあれば、男女混合で遊ぶときもある。1人で静かに本読みをしたり、絵を描いたりして過ごす児童もいる。

1学期は、「みんなでもっとなかよくなろう」「1がっきおつかれさまかいをしよう」という議題で学級会を行った。入門期として、教師が主導して司会をしたり、進行をしたりした。レクリエーションをするための話合いというよりは、話合いの進め方や、合意形成の図り方を理解したり、合意形成によって決めたことをみんなで実践することのよさを実感させたりすることをねらいとして行った。そのため、1時間の中で前半の時間で話合いを行い、後半の時間を使って決めたことを実践した。

（2）議題選定の理由

本議題は、〇月中旬に開催される校内音楽会に向けて、「子供たちがさらに仲良くなり、協力する気持ちを高めるにはどうしたらよいのだろうか。」という教師の問いかけに対し、「学年レクで他クラスの友達とも仲良くなったら良いと思う。」という児童の願いから生まれたものである。クラスの枠を超える集会活動になるため、学年主任とも相談し、本活動の意義を担任同士確認したうえで、各クラスでやりたい遊びを1つ決めて行う学年集会活動として実践する計画を立てた。自分のクラスだけではなく、他クラスの友達とも仲良くなるために話し合うことは、学級や学校におけるよりよい人間関係を形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとする態度を養うものと考え、また、学級会を通して、仲良く協力して取り組んでいこうとする気持ちを高めるとともに、やり遂げることができたという自信をつけさせることができると考え、本議題を選定した。

3 研究主題との関わり

【学校教育目標】

かしこく(すすんで学ぶ子) やさしく(なかよくする子) たくましく(明るく元気な子)

【目指す学校像】

「人のために 教職員も子供も 笑顔で 尊敬し合い(愛) 共に学び合い(愛) 感謝し合う(愛)学校」

研究主題「主体的に学び、友達と協働し、豊かな学校生活をつくる特別活動」
～自ら考え、学び合い、笑顔あふれる児童の育成～

【目指す児童像】

「めあてに向かって話し合い、協力して実践し、よりよい集団をつくろうとする子」

（具体的な姿）

- ・人によって考え方や価値観が違うことが分かる。
- ・提案理由に沿って自分の考えをもち、相手に伝えることができる。
- ・他者の考えを受容しながら話し合い、みんなにとって良いという視点で合意形成ができる。
- ・活動の目標を達成するために、他者と協力して実践することができる。



【指導の工夫】

①事前指導での計画委員の活動計画の作成指導

学級会の経験があまり多くないので、話し合いの内容によって滞ってしまうことが予想される。そのような場面で、話し合いが深まる進行ができるように、計画委員と話し合いの進捗のしかたを指導する。声のかけ方など具体的にイメージできるようにしていく。

②振り返りを次の学級会に生かすしくみづくり

学級会、実践の振り返りを全体で行い、共有する。自分の考えや思いを表現する機会とするとともに、互いの思いに耳を傾け伝え合う。その内容を計画委員で確認し、次の学級会や実践、今後の生活に生かせるように取りまとめている。

4 第1学年及び第2学年の評価規準

よりよい生活を 築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
みんなで学級生活を楽しむために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 話し合いの進め方に沿った意見の発表の仕方や他者の意見の聞き方を理解し、活動の方法を身に付けている。	学級生活を楽しむために、問題を発見し、解決方法について話し合いの進め方に沿って合意形成を図り、仲良く助け合って実践している。	学級生活を楽しむために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えをもち、役割を意識して集団活動に取り組もうとしている。

5 事前の活動

【計画委員会の活動】

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】（評価方法）
○月○日（○） 朝の会	・提案理由を確認する。 ・活動場所を確認する。	提案理由の意味を確認することで、課題解決のための自分の考えをもつことができるようにする。	◎学級の問題に関心を持ち、進んで話し合いの準備に取り組もうとしている。【態】（観察）

○月○日 (○) 業間休み 昼休み	○活動計画を作成する。 ・学級会の進行の仕方を確認する。 ・話合いの柱を確認する。 ・決まっていることを確認する。 ・めあてを決める ・司会グループの役割を確認する。	・実態を踏まえ、条件を教師が設定する。 ・進行の仕方を指導する。 ・各役割の仕事を伝える。	◎司会グループの役割、進行の仕方を理解している。【知・技】(発言)(観察)
○月○日 (○) ○校時	・学級会ノートに自分の意見を記入し、教師に提出する。	・提案理由に沿った意見を考えることができるよう助言する。	
○月○日 (○) 業間休み 昼休み	・司会の練習		
○月○日 (○) 業間休み 昼休み	・学級会コーナーをつくる。	・児童が主体となって掲示物を作れるよう助言する。	
○月○日 (○) 昼休み	・全員の学級会ノートに目を通す。	・話合いの見通しがもてるようにする。	

【学級全員の活動】

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
○月○日 (○)	・提案理由を確認する。 ・活動場所を確認する。	・提案理由の意味を確認することで、課題解決のための自分の考えをもつことができるようにする。	◎学級の問題に関心を持ち、進んで話合いの準備に取り組もうとしている。【態】(学級会ノート)
○月○日 (○)	学級会ノートに自分の意見を記入し、教師に提出する。	・提案理由に沿った意見を考えることができるよう助言する。	
○月○日 (○)	学級会ノートを受け取る。	・学級会ノートに励ましの言葉を書き、自信をもって意見を言えるようにする。 ・意見がずれている児童に対しては、教師が助言を書き入れ、教師と一緒に再考を促す。	

6 本時の展開

(1) 本時のねらい

みんながやってみたいと思える学年レクを考え、みんなで意見を出し合って決めることができるようにする。

(2) 児童の活動計画

ぎだい	1 ねんせい なかよし しゅうかいをしよう	
ていあんしゃ	〇〇せんせい	
ていあんりゆう	おんがくかいのせいこうにむけて、1 ねんせいみんなできょうりよくしなくてはなりません。そのため、がくねんでたのしいレクをして、もっとなかよくなってほしいとおもって、ていあんしました。	
はなしあいのめあて	がくねんのみんながたのしくなるレクをかんがえながら、はなしあおう。	
きまっていること	ひにち 〇がつ〇にち(〇) じかん 〇じかんめ ばしょ たいいくかん クラスごと1つあそびをきめる	
けいかくいいん	しかい() () ノート() こくばん(せんせい)	
はなしあいのじゅんじょ	きをつけること	よういするもの
1 はじめのことば	・みんなにつたわるこえでいう。 ・ひとりずつじぶんのやくわり、なまえをいう。 ・みんなにつたわるこえでいう。 1 ねんせい なかよし しゅうかいをしよう ・たんざくをかいてこくばんにけいじしてある。それをみんなでいっしょにいう。 ・これも、こくばんにけいじしてあるので、みんなに、つたわるこえでいう。 ・こくばんにたんざくをせいりしてはっておき、くらべるところからはなしあうようにする。 ・「みんながたのしめるレク」ということをたいせつにする。 ・みんなでたのしくレクをするために、どんなやくそくがひつようか、かんがえる。	・たんざく ・たんざく ・たんざく
2 けいかくいいんのしゅうかい		
3 ぎだいのかくにん		
4 ていあんりゆうのかくにん		
5 はなしあいのめあてのかくにん		
6 きまっていることのかくにん		
7 はなしあい		
みんながたのしめるあそびをかんがえよう。(10ぶん) 「やくそく」をかんがえよう。		
8 きまったことのかくにん	・きまったことを、みんなにつたわるこえではっぴょうする。	

9 ふりかえり	・じぶんとともだちのがんばったところを見つける。	
10 せんせいのはなし	・がくねんレクにむけて、がんばるきもちでいう。	
11 おわりのことば	・はっきりという。	

(3) 教師の指導計画

活動の計画	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
1 はじめの言葉	・全員に伝わる声で言えるように、事前に指導する。	◎提案理由に沿って、みんなが楽しめるレクについて考え、進んで自分の意見を発表している。 【思・判・表】(発言)
2 計画委員の紹介	・役割と名前をはっきりと言えるように、事前に指導する。	
3 議題の確認	1 ねんせい なかよし しゅうかいをしよう	
4 提案理由の確認	・改めて全体で確認することで、提案理由を意識して話し合えるようにする。	
5 話合いのめあての確認	・事前に掲示できるものを用意し、共通理解をして話合いに入れるようにする。	
6 決まっていることの確認	・議題や話し合うことなどは、事前に短冊に書いて貼ることができるように準備する。	
7 話合い みんながたのしめるあそびをかんがえよう。	・時間短縮し、「くらべあう」段階から進められるよう、事前に短冊に掲示し、出されている意見を全員で共通理解できるようにしておく。 ・話合いが混乱したときや、ねらいや提案理由などから大きくそれた場合は、議題や提案理由に立ち返らせて指導助言する。 ・自分の意見に固執せず、納得したうえで考えを変えることなど、折り合いをつけることも必要であることについても助言する。 ・決まらなかった意見は、レク係にお願いして学級で遊ぶようにして、どの意見も大事にできるよう助言する。	

「やくそく」をかんがえよう。 8 決まったことの確認 9 振り返り 10 教師の話 11 おわりの言葉	・どのように取り組むと、みんなが仲良くなれるのか、実際に遊ぶために必要なことを話し合えるよう助言する。 ・遊びが決まってからやくそくを考えるため、近くの人と話し合う時間を最初にとる。 ・「やくそく」「ルール」など意見を分類しながら短冊を貼り、比べやすいようにする。 ・発表に不足がある場合は助言する。 ・良かった点について自己評価し、友達の良かった点についても相互評価できるよう指導助言する。 ・①合意形成したことへの称賛をする。②今後の課題を伝える。③計画委員へのねぎらいをする。④今後の見通しや実践に向けての意欲付け等について簡潔に述べ、前回の話し合いと比べての変容について称賛する。 ・学級会が気持ちよく終えられるよう、はっきりと言えるよう指導助言する。	
--	--	--

7 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
○月○日(○) ○校時	・決まったことを学級会コーナーに掲示する。 ・役割分担をする。 ・準備をする。	・決まったことを全員が確認しやすくするため、要点を書くように助言する。 ・役割分担をして、協力したり、工夫をしたりするよう助言する。	◎自分の役割を自覚し、進んで準備に取り組もうとしている。 【態】(観察)
○月○日(○)～ ○日(○) 休み時間	準備をする。	・朝の会や帰りの会で、担当の進行状況を確認し、互いの取り組みを認め合い、意欲が継続するような声かけをする。	

○月○日 (○) ○校時	・学年レクを実行する。 ・終了後、振り返りをする。	・集会のねらいを確認し、協力して活動できるようにする。 ・集会を振り返り、みんなで協力して、自分たちで作り上げた達成感を感じられるようにする。	◎活動を振り返り、自分の頑張りや友達の頑なりに気づき、次の活動に生かそうとしている。【態】 (観察)(学級会ノート)
-----------------	--	--	---

8 備考 児童数 男子○名 女子○名 計○名